

11月20日 (木) 第4回 東京リアルプラットフォーム連絡会 女性特有の健康課題と女性活躍の推進 健康の新しい常識 プレコンセプションケア

2025
12/8



一般財団法人 日本女性財団
(東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエア
イーストタワー4階
代表理事 対馬 ルリ子

開催日：2025年11月20日 (水) 17:30 ~ 20:30

会場：東京女子医科大学 弥生記念講堂

来場者数：約 70名 (関係者含む)

主催：一般財団法人 日本女性財団

協力：東京女子医科大学 / 東京女子医科大学病院

協賛：ロート製薬株式会社 / 株式会社日本生物製剤

ご挨拶

第4回目となる東京リアルプラットフォーム連絡会が、東京都・一般社団法人 東京産婦人科医会 後援、東京女子医科大学の協力のもと、2025年11月20日 (木) に開催されました。東京では、初の学術との連携となりました。一般社団法人 東京産婦人科医会 松本 和紀会長からのご挨拶、そして、東京女子医科大学病院 院長 西村 勝治先生のご挨拶もビデオメッセージにて、日本女性財団の活動へのご賛同を頂戴しました。日本女性財団の活動は6年目を迎え、初回からご賛同をお寄せくださる 小池百合子 東京都知事のビデオメッセージも頂戴しました。



【来賓挨拶】

東京都知事 小池百合子様

一般社団法人 東京産婦人科医会 会長 松本和紀先生

東京女子医科大学病院 院長 西村 勝治先生

第1部

【日本女性財団より】 プレコンセプションケア総論

一般財団法人 日本女性財団 フェムシップドクター

産婦人科医

中島 由美子医師

日本女性財団 推進事業部 副部長、プラットフォーム事業部 委員会委員長 中島由美子医師より、「プレコンセプションケアの定義」「プレコンの歴史」「日本の問題点」「医療、行政、教育、職域、企業、そして当事者の教育」→セルフケア→プレコン→ウェルビーイングへと、プレコンセプションケアの原点は教育であり、すべての人の健康な生活へつながっていることについて、冒頭で解説がありました。



第1部

【基調講演】

未来の自分を守る“選択肢”

～乳房再建から考える女性の健康～

東京女子医科大学 形成外科学教室

准教授

松峯 元先生

乳がん罹患後の乳房再建術の最新手術の現場からご報告をいただきました。患者さんへの侵襲や負担が格段に改善されている術式やスケジュールのご紹介。乳房が人に与えるボディイメージと、その人の心身のウェルビーイングに影響を及ぼすことへのご解説がありました。また、妊娠出産前に乳がんを罹患し、乳房再建術を受けて出産された方のケースのご紹介もありました。婦人科領域にとどまらず、幅広い女性の健康に関する予備知識を持つことの重要性が示唆されました。



学生アンケート

【展示】女子大学生アンケート プレコンセプションケア意識調査

監修：下平レディースクリニック 院長 産婦人科医 中島由美子

東京女子医科大学

調査時期 2025年10月21日～11月4日

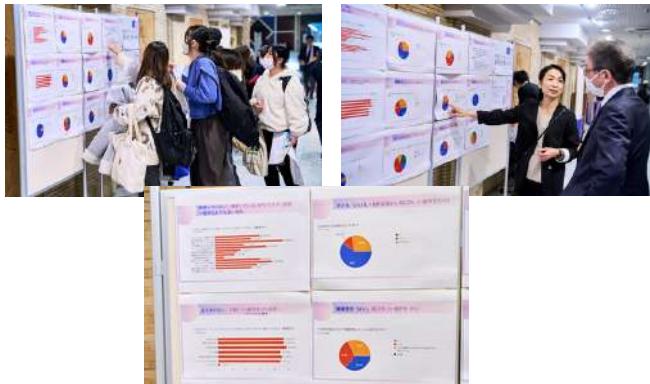
調査人数 57名

調査協力：東京女子医科大学看護学部

教授 小川久貴子先生

一般学生に比して、「プレコンセプションケア」の定義の理解度、将来の子供を持つことについて、健康に対する意識いずれも高い比率で関心度が高かった。

「教育」が「セルフケア」を促し、自分自身の健康を守る取り組みへと通じていることが示唆されました。



東京女子大学

調査時期 2025年7月

調査人数 240名（うち男性4名）

企画協力: 一般社団法人ハーブブレンドスタ

イル協会

「プレコンセプション」という言葉の定義を知っている人は2%でした。しかし、67%の人が「もっと知りたい」と高い関心を示していました。「妊娠・出産」というテーマが若年層の間では「自分ごと」になりづらく、自分の健康に向けて意識を持ちづらい、ということも考察されていました。



パネルディスカッション

これからの健康新常識

プレコンセプションケアと次世代への健康教育

「東京都のプレコンセプションケアに係る取組について」

東京都福祉局 子供・子育て支援部 調整担当課長
和田 葉様

令和3年2月に発布された国の方針である「成育医療等基本方針（令和5年3月改訂）」の経て、東京都では「正しい知識の普及啓発」「ヘルスチェックへの支援等」を実施されており、3千人を超える受講数、動画は25万回再生、受検率も高い。25歳以上30代の受講が99%であること。今後も東京都としてプレコンセプションケアを推進される旨のメッセージをいただきました。

「プレコンセプションケアの取組における実態今後の展望」

東京女子大学VERA祭実行委員会広報部
杉山 結美様

東京女子大学VERA祭の「日々の健康管理を自分ごととして捉える」テーマをきっかけに、若年女性のやせや不規則な食事、またプレコンセプションケア教育の不足といった課題感から「プレコンセプションケアアンケート」を実施、アンケート結果とその考察、また大学祭であるVERA祭で集まった声についても発表がありました。また、若年層に向けては自分ごと化のために「自分のウェルビーイングにつながる健康管理」、というPRが重要だとまとめがありました。

「プレコンセプションケア～婦人科腫瘍医の立場から」

東京女子医科大学 産婦人科学教室
田畠 務先生

プレコンセプションケアの目的と特に、若年子宮頸がんの罹患と妊娠中の子宮頸がん罹患症例について、一般向けにわかりやすく解説いただきました。男子にも一部公費接種が始まったHPVワクチン接種。予防できる「癌」を医療系学生から普及啓発をこれまでに積極的に進めてこられたことのご説明がありました。さらに、地域社会全体で若年女性およびその家族の健康を地域連携し守ることへのメッセージを頂戴しました。



■委員長 / FD / 産婦人科医 中島由美子
若い世代はプレコンセプションケアにつながるウェルビーイングについて高い関心を持ちながら情報不足であること、情報は、性や生殖にとどまらずに、疾患予防や健康管理、生活習慣など包括的に、中高生世代から、有効な手段で提供される必要があることが示唆されました。今後は、女性の健康を包括的に支援する仕組みが制度として構築されることを望まれます。



企業紹介

協賛 ロート製薬株式会社 / 株式会社 日本生物製剤



デリケートゾーン
を乳酸菌バリアケア
する新しいセルフケアについてブース・
動画プレゼンタイム
にてご紹介いただきました。



■ロート製薬
株式会社様



豚由来プラセンタ
抽出物の人やペット
への医薬品、健康補
助食品、化粧品等の
展開と研究開発につ
いてご紹介いただきました。

■株式会社
日本生物製剤様



閉会挨拶

フェムシップドクター / 産婦人科医
坂田 優医師



イベントページ



※ FD = フェムシップドクター

■ 委員 / FD / 産婦人科医 坂田 優
東京プラットフォームは志を同じくする仲間とつながりを作れるまたとない機会です。
今回の出会いが今後の大きな流れのもとになることを期待しています。みなさまありがとうございました。

■ 委員 / FD / 産婦人科医 星野 裕子

この度のテーマである、プレコンセプションケアは産婦人科というより、現在の若者すべてに必要な知識です。
自分の身体に注目して、自分の人生をどのように送るかを考えるために必要な知識であるということを、伝えなければと思っています。

■ 委員 飯田 智子

一人ひとりが自分の心と体を大切にできるよう、知識の普及と環境づくりに努め、若い世代を支える活動を続けてまいります。

■ 委員 杉山 めぐみ

若者と医療の架け橋として、地域や若者への啓発を柔軟に展開したいと考えています。自分らしい未来と健康を描ける社会になるよう、財団のみなさまと共に活動してまいります。



東京プラットフォーム連絡会のあゆみ



動画

東京プラットフォーム連絡会の歩み。
「女性たちに生き抜く力を。」



一般財団法人 日本女性財団

TEL : 03-5219-1513

Mail : office@japan-women-foundation.org

■ HP



■ Instagram
jwf.official



■ Instagram
femship.official

